

植物園たより

(毎週金曜日発行)

22号

2025
8.29

京都府立植物園

〒606-0823 京都市左京区下鴨南木町
TEL 075-701-0141 FAX 075-701-0142
http://www.pref.kyoto.jp/plant/



□ 展示会・講習会・ガイド情報

イベントの詳細はホームページでご確認ください。



植物園HP

LIGHT CYCLES KYOTO

光と音が織り成す新たな植物の魅力を五感で感じる
没入型体験イベント(会場:観覧温室他)

- 日程: 5月24日(土)～R8年3月31日(火)
- 9/7まで: 19時～21時半、9/9～9/30、3月: 18時半～21時半
- 10/1～2月: 18時～21時半(いずれも最終入場 20時半)

毎週月曜休演

- 料金: 大人(高校生以上): 当日券 2,500円 前売券 2,300円
小人(小・中学生): 当日券 1,200円 前売券 1,100円
障がい者手帳等お持ちの方: 当日券 1,200円 前売券 1,100円
未就学児: 無料

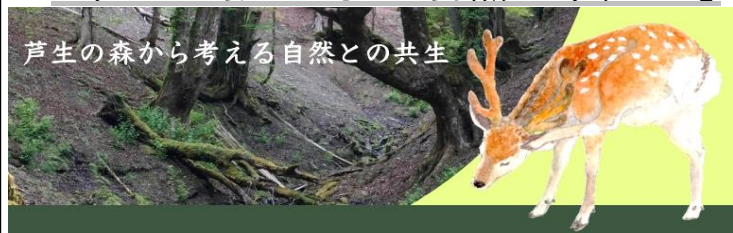
- 問い合わせ: 京都府立植物園アートナイトウォーク実行委員会
LIGHT CYCLES KYOTO 運営事務局
(contact@lightcycles-kyoto.com)



LIGHT
CYCLES
KYOTO

公開講演会

「けもの、植物 そして 私たち ～ 芦生の森から考える自然との共生～」



- 日程: 8月30日(土) 13時～16時
- 内容: 芦生の森は「植物ヲ學ブモノハ一度ハ京大ノ芦生演習林ヲ見ルベシ」と称されるほど豊かな植物相が残る貴重な森です。しかし1990年代後半より増えたシカによる植物の過採食(いわゆる食害)がみられるようになりました。今年は、2006年に芦生生物相保全プロジェクト(ABCプロジェクト)により芦生研究林に大規模な植生保護柵がつけられ20年目、京都丹波高原国定公園が設立されて10年目となる節目の年です。これまでの植生保護、希少種保全、野生動物管理について振り返り、今後の保全について議論します。

- 主催: 京都府自然環境保全課・京都府立植物園・京都大学フィールド科学教育研究センター芦生研究林

- 定員: 400名 事前申込先着順(申込締切 8/27・17時)

- 申込方法: 専用フォームから申し込みを ⇒

- 参加費: 無料

- 会場: 京都府京都学・歴史館大ホール
(※植物園ではありません)



申込フォーム

緑化運動ポスターコンクール入賞作品展

- 日程: 8/30日(土)・31(日)
- 内容: 児童生徒が作成した緑化推進啓発ポスターのコンクール入賞作品を展示
- 会場: 植物園会館 1階展示室

植物園芸相談 植物園会館 2階園芸サロンへどうぞ。

- 毎週 日曜日 9:00～12:00、13:00～16:00
- 電話 075-701-0141 (電話でも受付可)

令和7年4月1日(火)より、入園料を改定しました。
詳しくは植物園ホームページでご確認ください。

植物画展・コンクール

- 日程: 9/5(金)～15(月・祝) 10時～16時
- 内容: 公募による植物を主題にした絵画(ボタニカルアート)を展示。今年度より、コンクール形式となります。
- 会場: 植物園会館 1階展示室



植物作品展

- 日程: 9/13(土)～9/21(日) 10時～16時
- 内容: 児童・生徒が作成した植物の標本や研究作品等を展示
- 会場: 植物園会館 2階多目的室

バラ栽培講習会

- 日程: 9月13日(土) 13時～15時(受付 12時半～)
- 内容: 秋バラの手入れ
- 講師: 日本ばら会京都部会会員
- 定員: 当日先着 60名
- 参加費: 資料代 200円(会員無料、別途入園料が必要)
- 会場: 植物園会館 2階研修室



副園長と園内散歩

- 日程: 9月21日(日) 10時～10時45分
- 内容: 園内の四季折々の草木について、副園長が解説しながらご案内。10時に植物園会館前に集合願います。(予約不要)

きょうと☆いきものフェス! 2025

- 日程: 9/27(土)～9/28(日) 9時～16時
- 内容: 生きものの保全に関連する団体や施設のブース出展、種子飛ばしワークショップなど
- 会場: 植物園会館 1階展示室、2階研修室
・多目的室、大芝生地ほか
- ※詳しくは、きょうと生物多様性センターのホームページへ ⇒



同時開催 森林の魅力体感イベント

- 日程: 9/27(土) 10時～16時
- 内容: 丸太切りやミニ椅子、ペン立てづくりなど木工体験、木と遊ぶコーナー、府内産の木竹製品の販売、森林や木材のことを知るコーナーなど
- 会場: 植物園大芝生地ほか

私のお気に入り: カキノキ: 柿といえば秋の味覚として人気。また、縁起物としてよく庭に植えられ、特に農村地域では今も屋敷に柿の木がある景色が多く見られます。諸説ありますが「嘉来(かき)」の字を当て「喜びが来る」お金が貯まる、金持ちの縁談が舞い込む、とか、「お金をかき集める」という語呂合わせ、柿の実の色を風水では「赤」と見なし、邪気を払う色とされるとか、しわのある干し柿は長寿の証、沢山実がなり子宝に恵まれる、栄養バランスの良い果実という点などなど、とても大切にされてきました。近年は、集落内でのクマ出没が増え社会問題となり、人口減少の進む農山村地域で多くのカキノキがクマの出没を誘発している事例が増え、対策を求められています。(A)



当園のカキノキ

毎週開催の植物ガイド (猛暑対策7月から時間等変更)

- ◇「水曜ミニガイド」〔植物園認定ガイドによる解説〕
⇒9/10(水)までお休みします。9/17(水)再開
- ◇「土曜ミニミニガイド」〔技術課職員による解説〕
⇒10時スタート!
- ※ 各回植物園会館前に集合してください。

植物園スタッフ押し 今が見ごろの植物たち 2025. 8. 29

四季彩の丘

- ◆オニバス
- ◆オミナエシ
- ◆ツルバキア ウィオラケア
- ◆ムクゲ'祇園守白'
- ◆フジバカマ

絶滅危惧種園・中国植物園

- ◆オオキンレイカ
- ◆ハマナス
- ◆トウテイラン
- ◆ハマカンゾウ
- ◆アザレアツバキ
- ◆クサボタン



ツシマギボウシ

ワイルドガーデン・球根ガーデン

- ◆タイタンビカス(水路)
- ◆ルドベキア
- ◆トレニア
- ◆ニチニチソウ
- ◆トケイソウ
- ◆ペチュニアボール(北山門)
- ◆マンデビラ
- ◆サルビア



植物生態園

- ①スズムシバナ(白)
- ②レンゲショウマ
- ③フジカンゾウ
- ④ムサシアブミ(実)
- ⑤カリガネソウ



レンゲショウマ
(植物生態園)

観覧温室

- ①ニンファエア・イムタビリス
- ②サボジラ
- ③アリストロキア・サルバドレンシス
- ④キシウテンガイ(雄花)
- ⑤サギソウ
- ⑥ハトラン



ベニマツリ



タイガーオーキッド



リシオノツス ペ
テロティ

観覧温室



コサルスベリ★
サルスベリ★
キョウチクトウ★

★熱帯スイレン

正門・植物園会館付近花壇

- ◆ジニア ◆ペチュニア ◆ルドベキア
- ◆マンデビラ ◆サルビア ◆アカリファ
- ◆ネコノヒゲ ◆ヒマワリ(ティディベア)



アンゲロニア 'セレニータ ラズベリー'



ヒマワリ'ティディベア'

植物生態園

★ヒマラヤスギ
の切株

★サルビアロード

★ムクゲ★

森のカフェ

★ザクロ

大芝生地

サンゴジュ(実)★

★マンデビラ

★ヒマワリ

正門

植物園会館

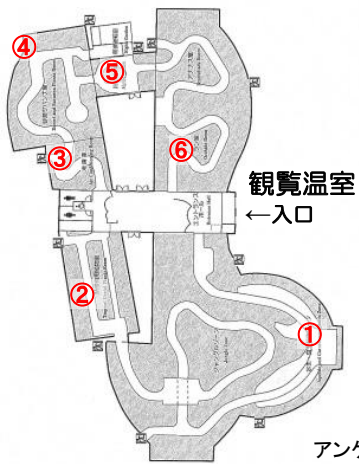
噴水9:00~11:00
15:00~17:00

沈床花壇及び西側道路

- ◆ジニア ◆マリーゴールド
- ◆タチアオイ ◆クレオメ
- ◆ルドベキア ◆カンナ



ゴシュユ



観覧温室

←入口



YouTube Instagram

週刊オススメ
植物情報 (HP)

